

セ タガヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ト ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2024.2 No.238

今月のトピック

- 特集 P.2-5
学生と地域のつながりを深める～
「せたがや学生ボランティアフォーラム」開催
- せたがやキラリ人 P.6
前田 和佳子さん
- せたがや災害ボランティアセンターレポート P.7
防災シンポジウム「在宅避難と遠隔避難」
令和6年能登半島地震被災地支援ボランティア派遣募金

●イラストレーター 優月
現在高校生。大切な愛犬「こむぎちゃん」を元に描いてみました。日々、愛犬の可愛さに癒されています。

●わたしの世田谷
世田谷区に引越してきて半年が経ちました。週末は緑豊かな公園での散歩やカフェを楽しんでいます。習い事も始めて、世田谷区での暮らしを満喫しています。



学生と地域のつながりを深める 「せたがや学生ボランティアネットワーク」開催



世田谷区内の大学のボランティアサークルやボランティアグループで活動する学生を、地域のボランティア活動につなげて力を発揮してもらおう「せたがや学生ボランティアネットワーク」の取り組みが、世田谷区で行われています。12月16日には、学生の代表と地域で活動するボランティア、市民活動団体の代表者などが集まり、「せたがや学生ボランティアフォーラム」が開かれました。学生たちの意欲ある活動とともに、当日の様子をお伝えします。

「せたがや学生ボランティアネットワーク」とは

世田谷区や沿線の鉄道駅付近などには多くの大学や学部があり、学生ボランティアサークルやボランティアグループが活動していま

す。世田谷区では三年前から、学と区の連携・協力関係を深め、学生にもまちづくりに参加してもらおうと、「せたがや学生ボランティアネットワーク」（略称・学ボラネット）を立ち上げました。世田谷ボランティア協会もこの事業のサポート役として加わり、主に学生と地域の活動団体をつなげる役割を担っています。

12月16日には、年に一回、学生たちが直接会場で顔を合わせて意見交換を行う「せたがや学生ボランティアフォーラム」が成城ホールで開かれました。今年は特に、地域とのつながりについて考えを深めるきっかけにってもらおうと、世田谷区で地域活動を展開する団体や個人にも参加してもらったの開催でした。

フォーラムは三部構成で、第一部では各団体の代表が自分たちの活動を紹介、第二部はパネルディスカッションのかたちで学生相互の意見交換。第三部では市民活動



第一部は各団体の活動紹介（写真上）
会場ロビーで自分たちの活動を紹介（写真下）



を実際に行っている地域の方も交え、学生と地域活動について語り合いました。会場ロビーでは、学生たちが自分たちの活動を紹介するために作ったポスターも展示。途中の20分の休憩時間には、学生とのつながりを求める活動団体は、ポスターの前に集まり、学生たちの説明を聞いたたり、熱心に質問し

悩みややりがい共有して
今後に活かす

たりする姿も見られました。

第二部のパネルディスカッションで、学生たちは、活動を進めるうえで悩んでいることや、実際にボランティアをしてみてもの感想な

ど、ざつくばらんな意見交換を行いました。学生たちのグループの中には、100人を超えるメンバーと長い歴史を持つ団体もある一方、数人での活動を始めたばかりというグループもあります。

メンバーの多い団体は多いなりに、全員が活動する体制にならない、メンバー同士の交流が進まないといった悩みが挙げられました。サークルであるがゆえに参加を強制することもできず、決まったメンバーでの活動になりがちだとか、人数を集めたいのに、なかなか参加してもらえないという面もあるそうです。小さい団体は、共感してくれるメンバーや活動先の開拓が悩みなど、それぞれ違った問題意識を出し合って皆で共有しました。

活動に参加してもらうに当たり「はじめの一步」が壁になる、まずは一歩踏み出してもらうためにどうすればよいか、との投げかけには、車イスの体験会など、気軽

に参加できるイベントを開いたら効果的だった、といったアドバイスもありました。さらに学生ならでは、学業との両立についての悩み、委員長としてのリーダーシップやメンバーに自発的に動いてもらうための心がけといった組織運営論にまで話は発展し、とても有意義な場になったようでした。

いろいろと悩みなながらも活動を進める学生たちですが、やはりボランティアを通して得られるものも大きいという意見が聞かれました。まずは感謝されるうれしさと人の役に立っているという実感。大学周辺や地域で活動をしていると、周りの人から声をかけられることも多いそうです。また、ボランティアで関わった人たちから「ありがとう」と言われること、信頼を得られているという思いが、何よりもやりがいにつながるかと、みんな口を揃えて話していました。それ以外に、障害者のお手

伝いをする中で、自分たちが暮らす社会が、健常者の大人を前提としてできあがっていることを実感したという学生もいました。ダイバーシティを認め合い、誰もが暮らしやすい社会について考える機会となったということです。

地域の大人はどう思っている？

第三部では、実際に市民活動を行っている地域の大人が議論の輪に入り、みんなで市民活動について語り合いました。実はこの企画は学生たちの希望で実現したものの、自分たちは良いと思って活動しているけれど、これって本当に求められていることなの？ という疑問があったからだといえます。それに対して地域の大人からは、若者の力を日々実感している、期待しているとの声が。

例えば、学校に行きづらい子どもや放課後の居場所がほしい子どもが集う自習室「オーリーブルー

ム」。お母さんたちが中心となって立ち上げましたが、学ボラネットがきっかけで、昭和女子大学と駒澤大学のボランティアアグループの学生も参加するようになりました。オーリーブルー代表の川上さんは、親と子という上下関係ではない、中間で寄り添ってくれる学生の存在が欠かせないと言います。大学生のお兄さん、お姉さんにほめてもらいたくて、自主的に勉強を頑張る子どもの姿に成長を感じるそうです。参加する学生側も、子どもが「わかったー」と言ってくれることが本当にうれしいとか、お母さんが一緒にいる場でのボランティアであることから、不安に思うこともすぐに解決できて安心、など、楽しく充実した活動の様子が伺えました。

砧地域でごみ拾いなど数多く市民活動を行っている宇佐美さんは、地域には若い人の力が必要だと話します。地域活動の中心は高齢者に偏りがち。そこに学生が加

フォーラム参加団体一覧

- ・国士舘大学 児童教育研究会
主な活動：世田谷区内の小学生の遊びの場「せたがや ASOBO」の実施
 - ・駒澤大学 駒沢大学ボランティアサークル
主な活動：障害者施設やプレーパークでのボランティア活動など
 - ・駒澤大学 駒澤大学学生赤十字奉仕団
主な活動：献血推進活動など
 - ・昭和女子大学 ENVO
主な活動：女川町の被災地支援など
 - ・昭和女子大学 ボランティア委員会
主な活動：ごみ拾い活動、学内献血推進活動、援農ボランティア、企業のエコキャンペーンの推進活動など
 - ・日本大学文理学部 学生国際ボランティアグループ Salamat “A”
主な活動：フィリピンの子どもたちの教育支援
 - ・明治大学 きずな International
主な活動：梅丘にて子どもとふれあう「うめ・ゆめふれあい塾」の実施など
 - ・明治大学 心身障害者福祉会しいの実
主な活動：障害者支援および小中学校での学習支援など
 - ・明治大学 のえる
主な活動：チャリティーサンタや子どもにかかわるボランティアなど
 - ・明治大学 ぱれっと
主な活動：ごみ拾い、ペットボトル回収など環境に関する活動
 - ・テンプル大学 ボランティア活動団体
主な活動：区内に住む外国人へのサポートなどのボランティアを始めたい
- ※「せたがや ASOBO」や「うめ・ゆめふれあい塾」は学ボラネットを通じて活動が始まりました！

わることでも活力が生まれます。情報発信という面でも学生が力を発揮できます。北沢地域で活動する古屋さんは、「人カマツチングアプリー」を作ってほしいと学生に要望。地域で行われている活動をもっと多くの人に知ってもらいために、実際に学生が地域の人と一緒に活動し、情報を広めてほし

い、そこから潜在的に存在する「地域活動してみたい人」につながるのではと期待しています。学生からは、地域に入って活動してみたいけれど、受け入れてもらえるのか心配という声や、どんな経験が積めるのかといった具体的な質問も。地域の側からは、人が足りないから学生に来てほしい

という態度はいけないとか、主従関係にならないよう、学生と対等な立場で接したいなど自戒の念も含めて意見が出ました。それぞれ強みを活かし、お互いにとって意味のある活動に発展させたいという思いが感じられます。実は会場での議論だけでは時間が足りず、控室に戻って第二ラウンドを展開した学生と地域の代表者。学生にとつて、異なる世代、異なる環境の人たちとの交流が、今後社会に出ていく上で貴重な経験となるに違いありません。

今回のフォーラムをきっかけに、地域の活動団体から、学生の団体を紹介してほしい、つなげてほしいとの具体的な問い合わせが世田谷ボランティア協会で寄せられています。今後も「学ボラネット」が、学生の活動の広がりとして、よりよい地域社会につながるよう、支援をしていきます。

（文章／編集委員 中部香世）



ガザの子どもたちに寄りそう

前田 和佳子さん
まえだ わかこ

やが せた人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

課後支援の活動を週二回。「子どもの成長も見られ、ボランティアアはやりがいがあります」。ロヒンギャの子どもに接する

前田さんはフリーランスのライター、編集者。子育てや教育に関する記事を書きながら、「子ども」に関心が向いてきました。仕事をやらなくなっても子どもには関わりたいと思い、まず日本語教師の資格を取り、外国にルーツのある子どもを支援することになりました。今年で二年目となるのは、ロヒンギャ（主にミャンマーに暮らすイスラム系少数民族）の子どもたちに日本語を教えること。「約400人のロヒンギャが群馬県に暮らし、学習支援ボランティアを募集していたのです」。週一回、Zoomで小学生の宿題をみています。また、新宿区では小学生の放

ことから、テロと重なっていたイスラムに対するイメージも変わりました。「ムスリムの子どもたちを見てみると、パレスチナの問題が他人事ではなくなりました」。そこで、昨年10月に長年パレスチナの抵抗運動を取材している古居みずえ監督による「ガザについて考える」ウェビナーに参加。「ガザの状況をはじめて知りました。民族的には血縁を大切にしている愛情深い人たちですが、全く罪のない子どもたちがひどい目にあっていました。何とか止めたいの思いが募りました。いつも接している子どもたちの姿と重なるのです」。また、代々木上原のイスラム寺

院での講演会で、パレスチナの歴史を客観的な視点で理解することができ、問題は「政治的」「宗教的」という言葉に目くらましされた「大きいテロと小さいテロの戦い」だと知りました。「仕方がないでは済まされません。まずはガザのことを知ってほしいと、古居監督の『ぼくたちは見た』の自主上映を思い立ちました。」上映後、誘ったママ友から感謝の言葉を頂き、「みんなガザの子どもたちのことは気になっていましたね。勇気を出してやってよかったです」。予想をはるかに上回る70人が集まり、「見ず知らずの方々も来てくれました。どうしていいかわからないけれど、子どもが殺されるのを何とか止めたい、と誰もが思っているんです」。

息子さんが不登校を経験した際、「人生を楽しんで生きてほしい」という思いが、ガザの子どもたちに何としてでも生きてほしいと願う気持ちに繋がります。

せたがや災害ボランティアセンターレポート

防災シンポジウム 「在宅避難と遠隔避難」開催



写真：谷浩二



1月13日(土)に烏山区民会館で防災シンポジウムを開催し、100名を超える参加がありました。これまでも、避難所生活と保健衛生、在宅避難、子どもたちと災害など状況に応じたテーマで議論し、課題提起してきました。

在宅避難が最近推奨されていますが、最新の被害想定でも在宅以外の避難が不可避であり、在宅で

の備えとともに、それが不可能な場合の備えも必要なことを踏まえて今回のテーマを設定しました。

NPO法人つなぎでおおむた理事長の彌永恵理氏、東日本大震災当時世田谷区災害対策課長を務めた笹本修氏の基調講演の後、横山康博センター長も加わってパネルディスカッションを行い、遠隔避難した方々の生活状況を踏まえ、地域コミュニティとのつながりをもつて一定程度離れた自治体に避難する可能性や課題などにつ

令和6年能登半島地震 被災地支援ボランティア 派遣募金

せたがや災害ボランティアセンターでは、災害ボランティアコーディネーターの養成をはじめ被災地支援としてボランティアの派遣を実施しています。令和6年能登半島地震での被災地支援としてボランティア派遣を要請します。

世田谷から被災地へのボランティア派遣に
みなさまの支援をお願いします！

世田谷ボランティアセンター
〒202-8585 東京都世田谷区北町1-1-1
TEL: 03-5712-5101

1/21 @ 28 ● 二子玉川駅前店 ● 世田谷ボランティアセンター
12:00~14:00 ● 三軒茶屋駅前店 ● ボランティアアソシエーション
● 三軒茶屋駅前店 (東京・芝川・4・丸山)

社会福祉法人世田谷ボランティア協会
東京都世田谷区下馬 5-20-14 TEL: 03-5712-5101 <https://netajishu.or.jp/seitag/>

今回の能登半島地震についても、被災地の情報を収集して、必要な支援を行うボランティアを継続的に派遣するため、1月13日の烏山区民会館を皮切りに、街頭募金やボランティアセンター、ビュローに設置した募金箱、主催事業での募金活動を行っています。ご支援、ご協力をお願いいたします。

令和6年能登半島地震 被災地支援ボランティア派遣募金

いて活発な議論を行いました。

当日は後述の募金も行い、短時間で3万8千円以上が集まりました。参加、協力いただいた皆様、ありがとうございました。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生〜高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法があるか、一緒に考えます。
●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisana.or.jp

ボランティア求む

京 高齢者の通院付き添いボランティア募集

南烏山に住む80代女性が、車いすを使用する通院（3か所）に付き添ってくださる方を求めています。女性の家族もそれぞれ持病を抱えており、病院に連れて行くのが難しくなっています。移動にはタクシーを利用しますので、降り降りの際と病院内での移動の介助をお願いしたいです。
●日時／月、水、木曜日の午前中、

それぞれ月1〜2回。月1回可
●場所／自宅（南烏山3丁目）から烏山地域の病院への往復
●交通／蘆花公園駅徒歩3分
●条件／車いすを押しした経験のある方、交通費支給
●問合せ／烏山ボランティアビューロー
TEL 6909・0333
karasubora@otagaisana.or.jp
https://medicalcura.com/

東 自宅から学校の登下校に付き添ってくれるボランティア募集

世田谷区内在住の知的障がいのある女の子が、自宅最寄り駅（田園都市線の駅）から後楽園駅近くの学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要としています。女の子は、高校3年生で、おとなしい性格です。電車での移動には慣れており、乗り換える駅や路線などは理解しているため、基本的に彼女が移動するのを側で見守っていただきます。週1回から可。詳しくはお問い合わせください。

●日時／（登校）月・木・金で自宅最寄り駅7時40分ごろ待ち合わせ、8時40分ごろ学校着。
（下校）水曜16時30分に学校前にお迎え、17時30分ごろ自宅最寄り駅着
●場所／後楽園近くの学校と自宅最寄り駅の間
●条件／女性、交通費支給
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabor@otagaisana.or.jp

小 梅丘の70代女性のお手伝いをしていただける方募集

梅丘1丁目にお住まいの方が、身の回りのお手伝いをしてくださる方を求めています。女性は脳性まひの障がいがあり、数年前のケガの影響もあり車いすを利用していません。普段はヘルパーさんの援助などを受けながら暮らしています。内容は、簡単な掃除や時々手紙などの代筆。また、近くへ一緒に買い物へ行き帰宅後に果物のカットなどもしていただけると有難いです。女性とお話を楽しみながら

京 知的障害のある方が通所する施設までの付き添いボランティア募集

知的障害のある男性（40代）が通所する施設への往復に、一緒に付き添って歩いてくださる方を求めています。危険がないよう見守りながら付き合っていただけの方お待ちしています。
●日時/月々金 行きは自宅を朝8時半に出発し施設まで、帰りは施設を12時に出発し自宅まで（週に1回でも、片道のみでも結構です）
●場所/自宅（上祖師谷2丁目）

ら協力して下さる方、お問合せお待ちしております。

- 日時/第1金曜日、午前中の2〜3時間程度
- 場所/梅丘1丁目のご自宅
- 交通/梅ヶ丘駅
- 条件/長期間活動が続けられる女性
- 問合せ/北沢ボランティアピュア
TEL 3420・2520
kitaborae@otagaisama.or.jp

小 千歳台福祉園で作品の縫製などの成形ボランティア募集

千歳台福祉園は、主に知的な障害をお持ちの方が通われている施設です。施設の活動の中では、スウェーデン刺繍や機織りを行っています。作成した刺繍布等をバッグ等にして販売しているのですが、職員がすべてをバッグ等に加工して下さる方を募集させていただきます。ご興味を持っていただけましたら、下記までご連絡をお願いします。

- 日時/月々金の9時〜18時のうち、お時間のある時
- 場所/世田谷区立千歳台福祉園 世田谷区千歳台3・31・9
- 交通/千歳船橋駅から京王バス千歳烏山行き5分バス停廻沢（めぐりさき）下車すぐ
- 問合せ/世田谷区立千歳台福祉園 担当 小泉・鈴木
TEL 3789・9801
chitosedai@themis.ocn.ne.jp

東 九品仏で手話通訳をお願い出来る方を募集

私たちは、「こころの健康を考える心の区民会議の場づくりグルーブ、ここからカフェ九品仏」という、月一度分野を設けず地域の皆さんにホッとする場を提供するサロンです。サロンでは地域で活動している方や団体を紹介しています。

対象者は、地域を問わず誰でも参加できます。そこでこの度、共生社会の実現に向けて、手話通訳ができるボランティアを募集します。ろう者と聴者を繋いでくださる方、出来ることを一緒にしてみませんか。

- 日時/原則第四土曜日の10時〜13時半の2時間（開催場所の抽選により、どちらかになります）
- 場所/九品仏地区会館または近くの会議室
- 交通/九品仏駅徒歩3分
- 条件/手話通訳ができる方（初心者でも可）
- 問合せ/心の区民会議場作りメンバー ここからカフェ九品仏 担当 湯澤
090・3061・8514
non7655@yahoo.co.jp

有償スタッフ募集

東 一緒に夕食作りをしてくれる女性募集

東玉川にお住まいの目の不自由な80代の女性が、夕食作りをしてくれる女性を探しています。今は全く目が見えなくなっており、困っています。月1回、日曜日の夕方の時間帯にお願いしたいです。ネットショッピングもできる方ですと助かります。女性の方のご応募お待ちしております。

京 保育園への送迎ボランティア募集

年中（5歳）の女の子の保育園への送迎を手伝ってくださる方を募集しています。お母さんが一人ではかばって送迎した結果、昨年末に体調を崩してしまいました。地域の方の手を借りて今後も保育園に通わせたいと思っています。週1回、送り・迎えのどちらかだけでも構いませんので、お手伝いください。笑顔のかわいい、明るい女の子です。

●日時／
（行き）月、火、木、金の9時頃
保育園着。
（帰り）月、木、金の17時頃保育
園迎え。火は15時に保育園迎え後

●日時／日曜日16時～18時前後

●場所／東玉川の自宅

●条件／報酬10000円／1時間
（緊急介護人の登録）

●問合せ／玉川ボランティアピュ

TEL 3707・3528

tamaboa@otagaisana.or.jp

千歳烏山駅まで。週1回、行き・帰りのどちらかでも可

●場所／自宅（南烏山5丁目）から蘆花公園内にある保育園。徒歩約30分。自転車利用可、バス

の場合約20分

●交通／千歳烏山駅徒歩5分

●条件／女性希望、優しく接して
くださる方。報酬・10000円

／1時間、交通費支給（区の緊急介護人に登録していただきま

す）

●問合せ／烏山ボランティアピュ

TEL 6909・0333

karasuboa@otagaisana.or.jp

講座・その他・募集

小京 『せたがやチャイルドライン』
『子どものこころの成長』

『せたがやチャイルドライン』は、子どもたちの様々な声を聴く中で「子どものこころ」について考えさせられることが沢山あります。この度、長年にわたり子どもに関わってきた児童精神科医の田中哲先生をお迎えして、お話しいただく会を企画しました。普段子どもに関わっている方はもちろん、子どもだったことのある全ての方へ、「子どものこころ」の成長にどう寄り添っていくか、田中先生のお話を一緒に聞いてみませんか。講師・小児科医田中哲氏（子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長）

●日時／2月10日（土）13時～16時
※受付は12時半から

●場所／
①北沢タウンホール2階
第一集会室（世田谷区北沢2・

8・18）

②ZOOMによる視聴

●条件／9000円（申込完了後、別途振込先をメールでお知らせします。振込手数料はご負担をお願いいたします）

●申込／左記二次元コードから
●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局

TEL 5712・5101



小 おもちゃライブラリーDUO 40周年イベントのお知らせ

代田おもちゃライブラリーは、代田から北沢ボランティアアビュローへ移転して「おもちゃライブラリーDUO（デュオ）」となりました。代田で活動を開始して40周年を迎え、ガラスホッパー（青年の活動）の30周年記念と一緒に記念イベントを開催します。ガラスホッパー作品展、ミニライブ、おもちゃコーナーの内容となります。

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」というボランティア活動をしたい方の経験や意欲などを、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。



詳細は左記二次元コードからご覧下さい。

●日時／3月2日（土）13時半～16時

●会場／北沢ボランティアアビュロー（梅丘1-8-9）

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●参加費／無料

●問合せ／おもちゃライブラリーDUO 担当 川口
TEL 3439・6158

東 玉川ビュローバザー開催&バザーボランティア募集

玉川ボランティアアビュローでは、恒例のバザーを開催します。収益はボランティア活動推進費として大切に使用させていただきます。「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てます皆さまのお越しをお待ちしております！ また、バザー提供品およびバザーボランティアも募集中です！

●日時／2月17日（土）10時半～14時

●場所／玉川ボランティアアビュロー（世田谷区玉川2-1-15）

※駐車場はありません

●交通／二子玉川駅徒歩5分

※提供品受付／1月20日（土）～1月27日（土）10時～16時（日曜除く）

新品または新品同様の婦人服子ども服、バッグ、アクセサリ、靴、贈答品、食器、雑貨のご提供をお待ちしております。紳士服・

おもちゃ・書籍など受付できないものもありますので、詳しくはお問い合わせください。

●ボランティア募集／

① 値付け…

1月26日（金）13時～15時

30日（火）10時～12時

2月1日（木）13時～15時

2日（金）10時～12時

7日（水）13時～15時

② 会場設営…

2月13日（火）10時半～12時半

③ バザー当日の販売・片付け等…

2月17日（土）10時～15時

●問合せ／玉川ボランティアアビュロー

TEL 3707・3528

tamabou@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にともなう「困った!」を話せる場所●

- 地域障害者相談支援センター ほーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ほーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

2月17日(土)に、玉川ボランティアビューローでバザーを行います。また、バザーのお手伝いをしてくださる方も募集しています。詳しくはP.11をご覧ください。

◆ふらっと& withより

新年に入り急に寒さの厳しくなってきたなかでも、まちなかを歩くときらほらと春を告げるかのように梅の花が姿を見せてくれます。気づけばアツという間に如月。雪解けて若葉の生まれる季節。暖かさを求めて日々目を向けたいと思います。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

2月10日(土)、せたがやチャイルドライン特別講演会2024「子どものこころの成長」を開催します。詳細はP.10をご確認ください。

編集後記

■せたがや学生ボランティアフォームで、学生と地域の方々が繋がり、新しい活動が始まるのは、私たちにとってとても嬉しいことです。引き続き活動のサポートをしていきます。

■1月21日(土)に、能登半島地震被災地支援ボランティア派遣募金の呼びかけに参加しました。雨の中でしたが、多くの方が募金をしてくださいと嬉しかったです。この募金は、必要な支援を行うボランティアを継続的に派遣するために大切にに使わせていただきます。(近藤)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811

●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
https://www.otagaisama.or.jp/
●発行人
横山 康博

